

まだらの風



令和7年1月28日
学校便り No.19
校長 原口 真

『 見つけよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、高めよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

小学生高学年で作成する壁画の制作がスタートしました。壁画の準備として、防波堤壁面の汚れ落としと下地塗りの作業が必要です。子どもたちは手や服を真っ白にしながら作業に汗を流します。どんな壁画になるかお楽しみに。

給食週間～おかず総選挙を勝ちぬいたメニューは！？～

1月20日、朝の時間に給食集会を開きました。内容は題して「おかず総選挙」！ 中学1年生4人が「春巻き」「照り焼きチキン」「白身魚のフライ」「メンチカツ」の4つそれぞれの良さを全校児童生徒にプレゼンを行い、給食週間最終日のメニューを投票で選びます。おかずをプレゼンする生徒たちは、自分の「推しメニュー」のよい所を、おいしさや栄養などの面からアピールしました。中には実際に作ってみて家族に食べてもらったり、かぶり物を作ってメニューになりきったりするという力の入れ具合で、選挙はたいへんな盛り上がりを見せました（※「おかず総選挙」は厳正な投票の結果「照り焼きチキン」が最多得票を集め、24日の給食でおいしくいただきました）。また、集会の最後には毎日の給食に関わってくださっている調理員さんや栄養士さんに感謝のメッセージを込めたお手紙を渡しました。子どもたちの元気の源である給食について考える良い機会になりました。



餅つき会～受験にねばり強く、の思いを込めて～

1月21日、餅つき会を行いました。中学3年生が受験にねばり強く取り組むことを願っての企画です。蒸したてのもち米を石うすに入れ、合い取りをしながら杵(きね)でついていく伝統的なやり方です。もち米のねばり気で重くなった杵で一生懸命ついた餅はとてもやわらかく、あんもち、砂糖じょうゆ、きな粉もち、湯とりもちなどどれを食べても「おいしい！」の声であふれ、受験生もたくさんの元気をもらいました。



授業参観～たくさんのご参観ありがとうございました～

1月22日、3学期の授業参観を行いました。3時間目に中学生はマット運動発表会を行いました。演技構成を一人ひとり考え、倒立、側転、跳び前転、開脚後転、はねおき、片足平均立ちなどに加え、難易度の高い伸膝前転、ロングアート、前方倒立回転跳びなどの組合せも見られます。一人ひとりが自分の限界に挑戦する姿やダイナミックな動きにたくさんの拍手が起こりました。4時間目に小学生は音楽発表会を行いました。全部で14曲と盛りだくさんの内容です。歌唱、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、器楽、琴などの演奏を主に学年単位で披露しました。最後は児童全員に先生たちのピアノやボンゴ、サックスなども加わり、さらに保護者さんも参加しオールスターで「Paradise Has No Border」を楽しみました。保護者の皆様にはお忙しい中にご参観いただきありがとうございました。



干物づくり体験～馬渡島の文化にふれる～

1月23日、干物づくり体験を行いました。講師として地域の釣場さん、山下さんのご協力をいただきました。馬渡島ではたくさんの新鮮な魚がとれるため、魚を美味しくいただく干物づくりは昔から盛んだったそうです。今回は「アジの開き」を作ります。子どもたちは一人ひとり包丁を持って、ゼイゴ、ウロコ、トゲやヒレを落としてワタをぬき、おなかと頭を開いて身を洗います。低学年の子どもは恐る恐るですが、高学年や中学生ともなると手際よく魚をさばいていきます。中には講師の先生からも名人のお墨付きをいただくほどの腕前を発揮するのはさすが馬渡の子どもです。塩水につけて上下ひっくり返してから真水で身を流し洗い、魚干し網に入れて天日にさらします。出来上がった干物は各家庭に持ち帰ってきたと思いますがお味はいかがだったでしょうか。

